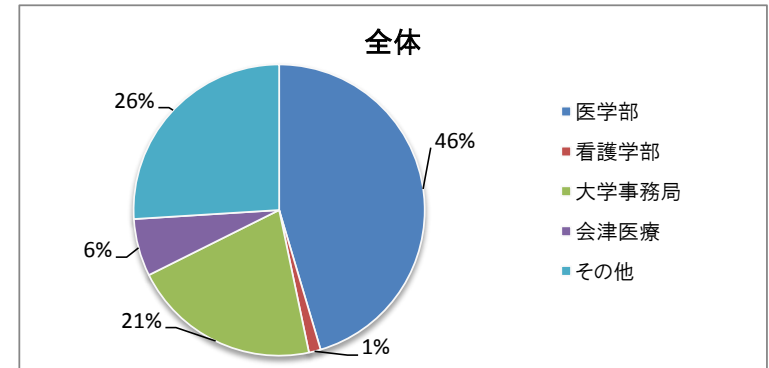


平成27年度「男女共同参画に関するアンケート」集計結果

1. アンケート回答者

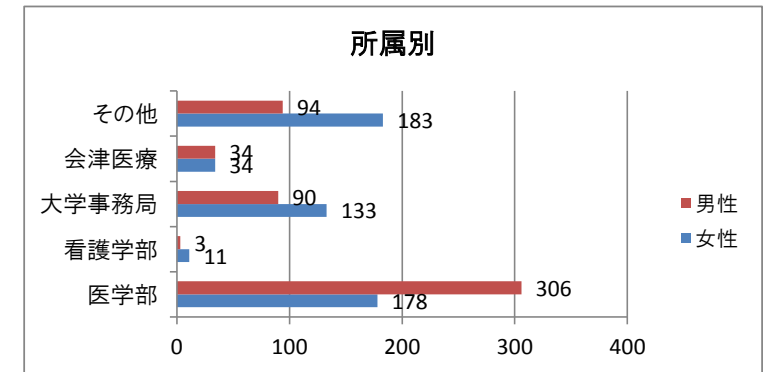
	医学部	看護学部	大学事務局	会津医療	その他
計	484	14	223	68	277

総計 1066名



○所属内訳

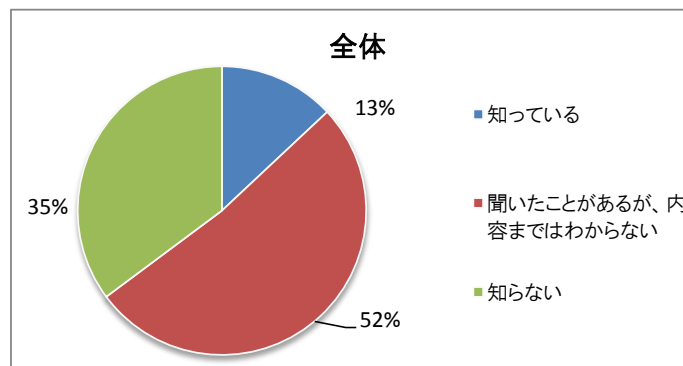
	医学部	看護学部	大学事務局	会津医療	その他
女性	178	11	133	34	183
男性	306	3	90	34	94
計	484	14	223	68	277



2. 「基本理念」及び「基本方針」を知っているか？

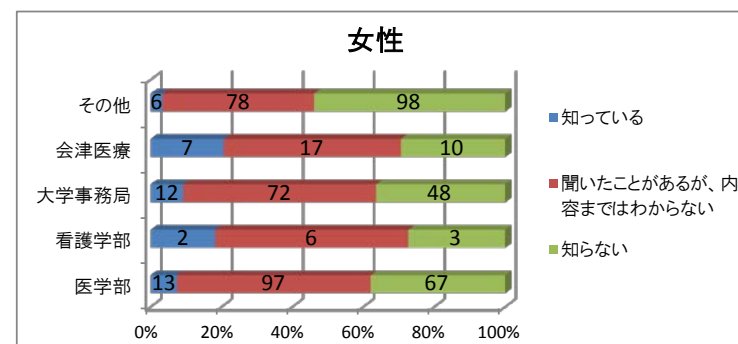
○全体(総回答数: 1060)

	総計
知っている	138
聞いたことがあるが、内容まではわからない	549
知らない	373



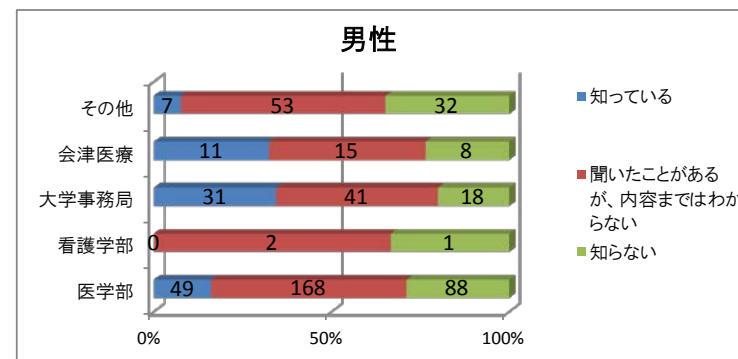
○女性

	医学部	看護学部	大学事務局	会津医療	その他
知っている	13	2	12	7	6
聞いたことがあるが、内容まではわからない	97	6	72	17	78
知らない	67	3	48	10	98



○男性

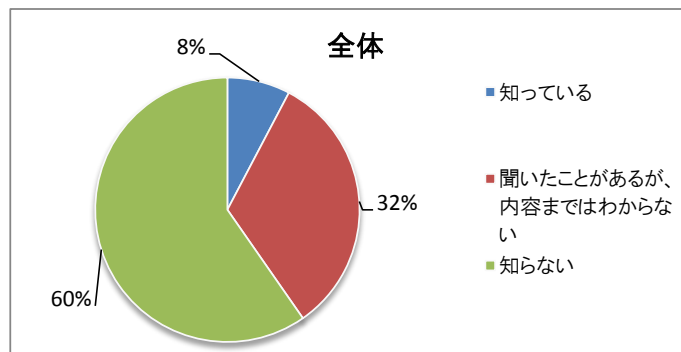
	医学部	看護学部	大学事務局	会津医療	その他
知っている	49	0	31	11	7
聞いたことがあるが、内容まではわからない	168	2	41	15	53
知らない	88	1	18	8	32



3. 「行動計画」を知っているか？

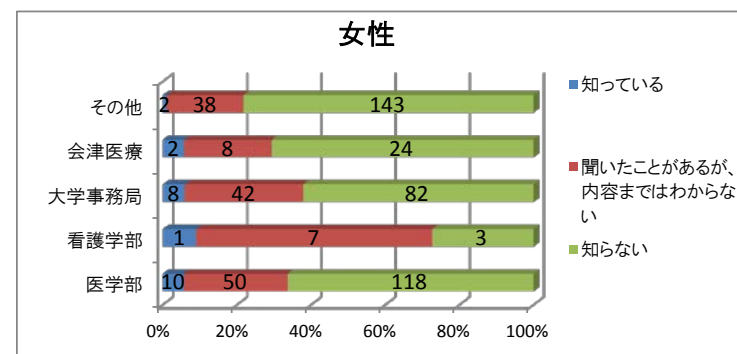
○全体(総回答数:1064)

	総計
知っている	82
聞いたことがあるが、内容まではわからない	347
知らない	635



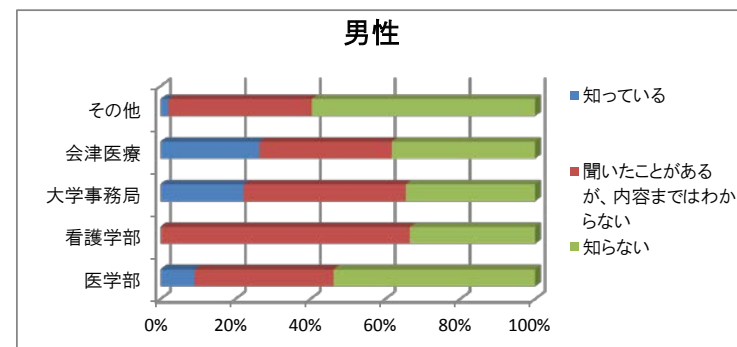
○女性

	医学部	看護学部	大学事務局	会津医療	その他
知っている	10	1	8	2	2
聞いたことがあるが、内容まではわからない	50	7	42	8	38
知らない	118	3	82	24	143



○男性

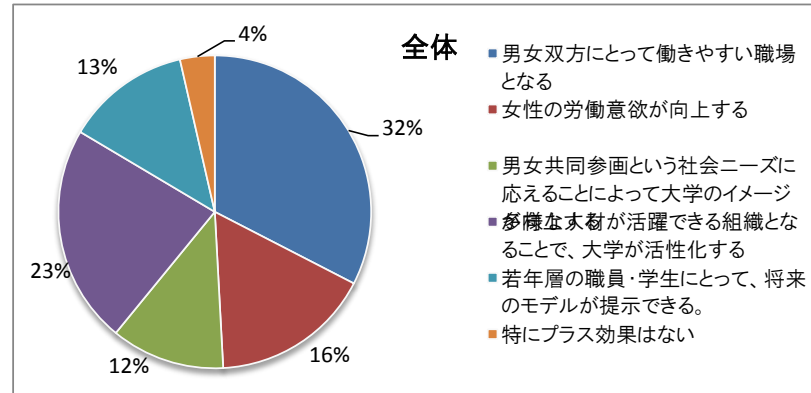
	医学部	看護学部	大学事務局	会津医療	その他
知っている	28	0	20	9	2
聞いたことがあるが、内容まではわからない	113	2	39	12	36
知らない	164	1	31	13	56



4. 本学で男女共同参画を推進することは、どのようなプラス効果があるか？(2つまで回答可能)

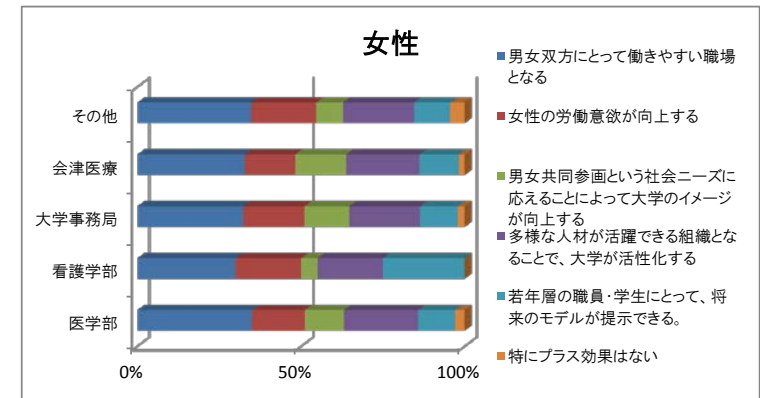
○全体(総回答数:1870)

	総計
男女双方にとって働きやすい職場となる	609
女性の労働意欲が向上する	310
男女共同参画という社会ニーズに応えることによって大学のイメージが向上する	220
多様な人材が活躍できる組織となることで、大学が活性化する	423
若年層の職員・学生にとって、将来のモデルが提示できる。	241
特にプラス効果はない	67



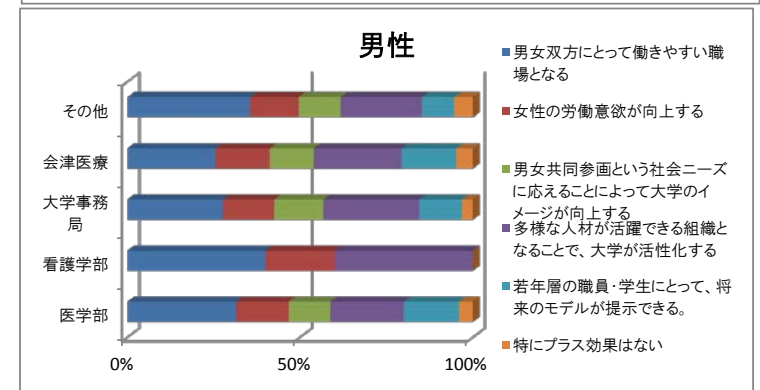
○女性

	医学部	看護学部	大学事務局	会津医療	その他
男女双方にとって働きやすい職場となる	109	6	76	19	110
女性の労働意欲が向上する	50	4	44	9	63
男女共同参画という社会ニーズに応えることによって大学のイメージが向上する	37	1	32	9	26
多様な人材が活躍できる組織となることで、大学が活性化する	71	4	51	13	69
若年層の職員・学生にとって、将来のモデルが提示できる。	35	5	27	7	35
特にプラス効果はない	9	0	5	1	14



○男性

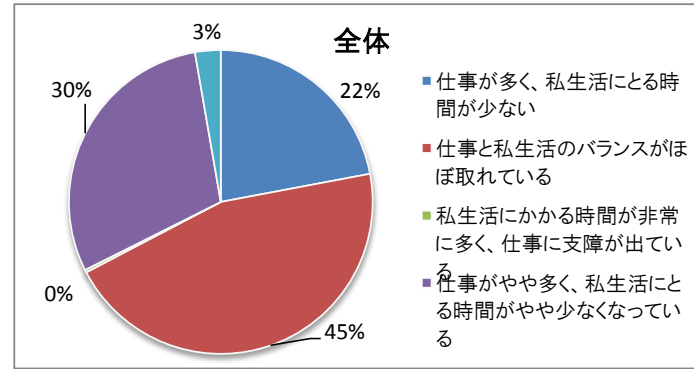
	医学部	看護学部	大学事務局	会津医療	その他
男女双方にとって働きやすい職場となる	173	2	45	16	53
女性の労働意欲が向上する	84	1	24	10	21
男女共同参画という社会ニーズに応えることによって大学のイメージが向上する	66	0	23	8	18
多様な人材が活躍できる組織となることで、大学が活性化する	117	2	45	16	35
若年層の職員・学生にとって、将来のモデルが提示できる。	88	0	20	10	14
特にプラス効果はない	22	0	5	3	8



5. 現在、あなたが理想と考えるバランスで仕事と生活の両立ができていますか？

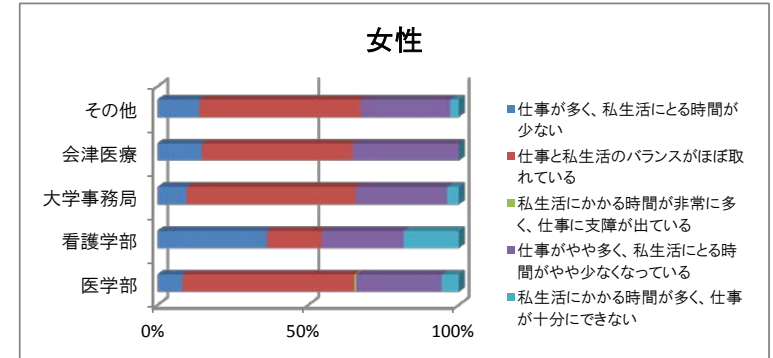
○全体(総回答数:1062)

	総計
仕事が多く、私生活にとる時間が少ない	234
仕事と私生活のバランスがほぼ取れている	481
私生活にかかる時間が非常に多く、仕事に支障が出ている	3
仕事がやや多く、私生活にとる時間がやや少なくなっている	315
私生活にかかる時間が多く、仕事が十分にできない	29



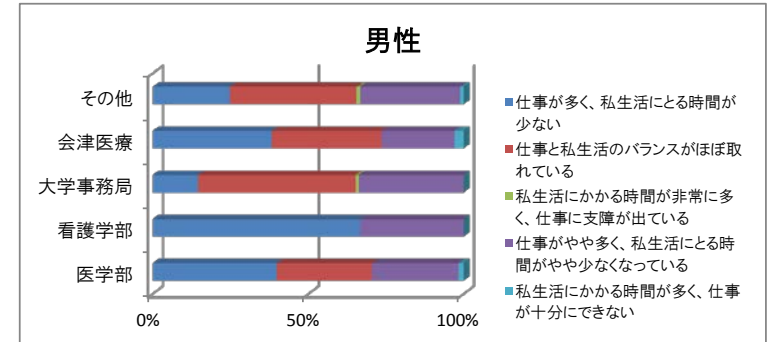
○女性

	医学部	看護学部	大学事務局	会津医療	その他
仕事が多く、私生活にとる時間が少ない	15	4	13	5	25
仕事と私生活のバランスがほぼ取れている	102	2	75	17	97
私生活にかかる時間が非常に多く、仕事に支障が出ている	1	0	0	0	0
仕事がやや多く、私生活にとる時間がやや少なくなっている	51	3	41	12	54
私生活にかかる時間が多く、仕事が十分にできない	10	2	5	0	5



○男性

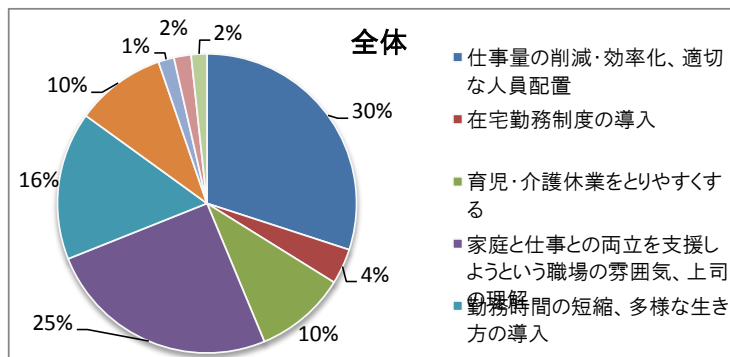
	医学部	看護学部	大学事務局	会津医療	その他
仕事が多く、私生活にとる時間が少ない	121	2	13	13	23
仕事と私生活のバランスがほぼ取れている	93	0	45	12	38
私生活にかかる時間が非常に多く、仕事に支障が出ている	0	0	1	0	1
仕事がやや多く、私生活にとる時間がやや少なくなっている	85	1	30	8	30
私生活にかかる時間が多く、仕事が十分にできない	5	0	0	1	1



6. 仕事と私生活を自分の理想のバランスにするために、必要だと思うことは何か？(3つまで回答可)

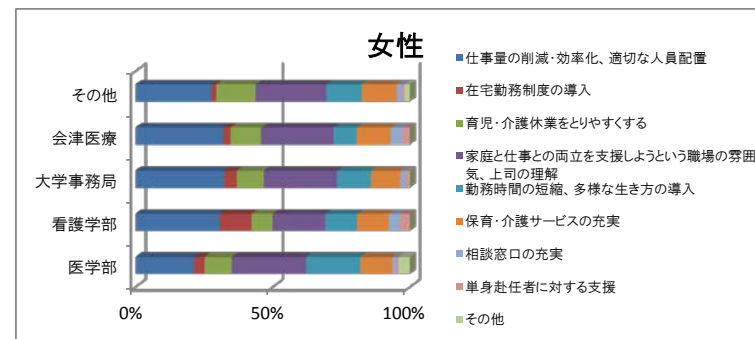
○全体(総回答数: 2529)

	総計
仕事量の削減・効率化、適切な人員配置	759
在宅勤務制度の導入	97
育児・介護休業をとりやすくする	250
家庭と仕事との両立を支援しようという職場の雰囲気、上司の理解	638
勤務時間の短縮、多様な生き方の導入	405
保育・介護サービスの充実	247
相談窓口の充実	43
単身赴任者に対する支援	47
その他	43



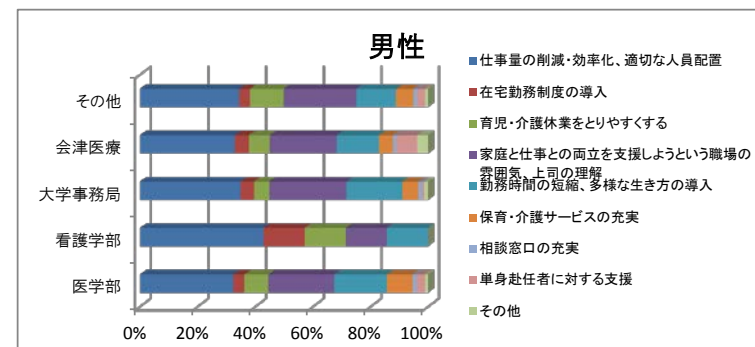
○女性

	医学部	看護学部	大学事務局	会津医療	その他
仕事量の削減・効率化、適切な人員配置	93	8	105	23	122
在宅勤務制度の導入	17	3	15	2	9
育児・介護休業をとりやすくする	43	2	32	8	64
家庭と仕事との両立を支援しようという職場の雰囲気、上司の理解	119	5	87	19	114
勤務時間の短縮、多様な生き方の導入	86	3	40	6	57
保育・介護サービスの充実	51	3	35	9	57
相談窓口の充実	7	1	6	3	9
単身赴任者に対する支援	3	1	4	2	3
その他	18	0	1	0	9



○男性

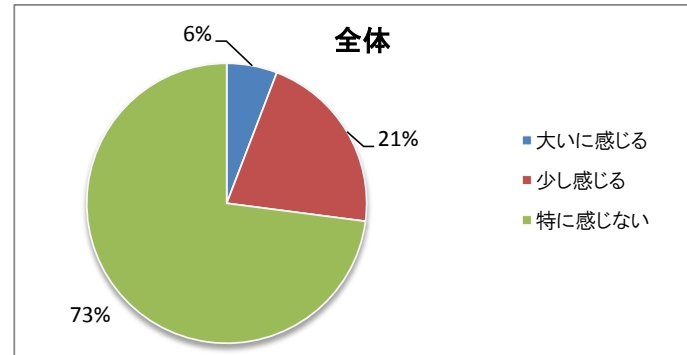
	医学部	看護学部	大学事務局	会津医療	その他
仕事量の削減・効率化、適切な人員配置	229	3	74	27	75
在宅勤務制度の導入	28	1	10	4	8
育児・介護休業をとりやすくする	58	1	11	6	25
家庭と仕事との両立を支援しようという職場の雰囲気、上司の理解	162	1	57	19	55
勤務時間の短縮、多様な生き方の導入	129	1	41	12	30
保育・介護サービスの充実	63	0	12	4	13
相談窓口の充実	10	0	3	1	3
単身赴任者に対する支援	21	0	1	6	6
その他	7	0	3	3	2



7. あなたの職場で男女差別を感じたことはあるか？

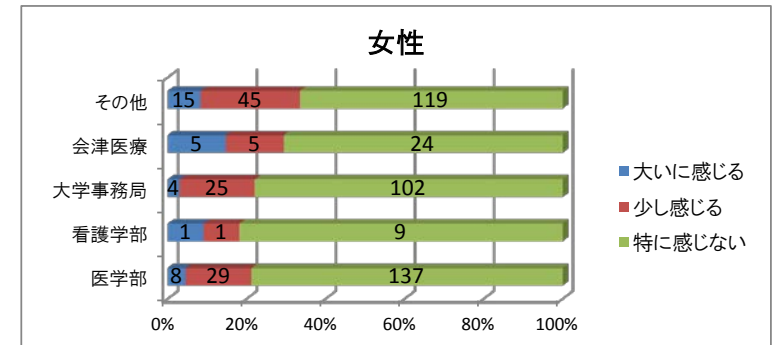
○全体(総回答数:1046)

	総計
大いに感じる	61
少し感じる	222
特に感じない	763



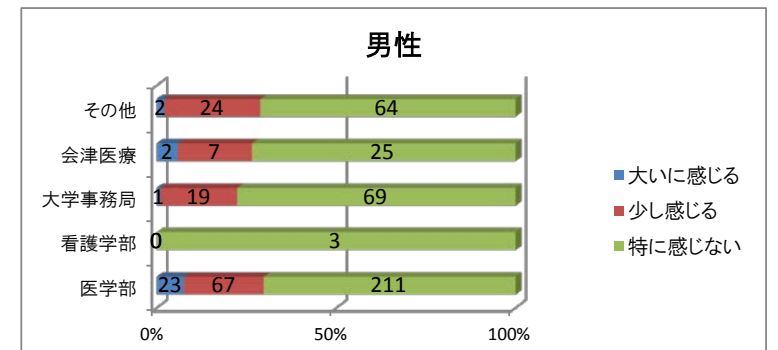
○女性

	医学部	看護学部	大学事務局	会津医療	その他
大いに感じる	8	1	4	5	15
少し感じる	29	1	25	5	45
特に感じない	137	9	102	24	119



○男性

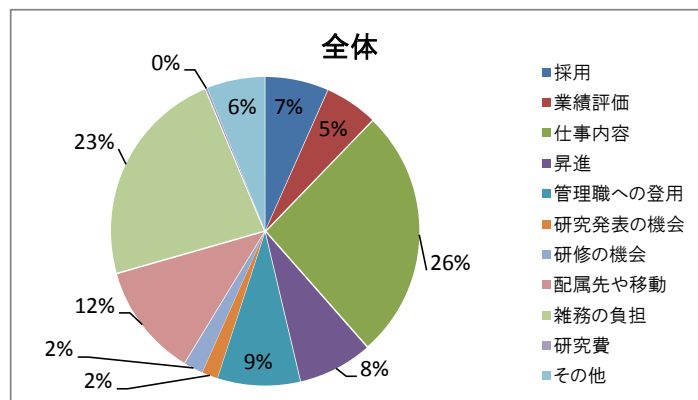
	医学部	看護学部	大学事務局	会津医療	その他
大いに感じる	23	0	1	2	2
少し感じる	67	0	19	7	24
特に感じない	211	3	69	25	64



8. 男女差別を感じるのどのような点か？(6にて「少し感じる」「大いに感じると答えた人のみ、3つまで回答可)

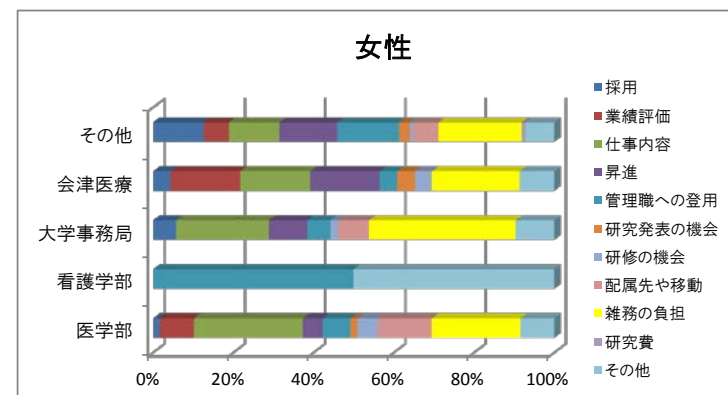
○全体(総回答数:540)

	総計
採用	36
業績評価	30
仕事内容	142
昇進	42
管理職への登用	47
研究発表の機会	9
研修の機会	11
配属先や移動	64
雑務の負担	125
研究費	1
その他	33



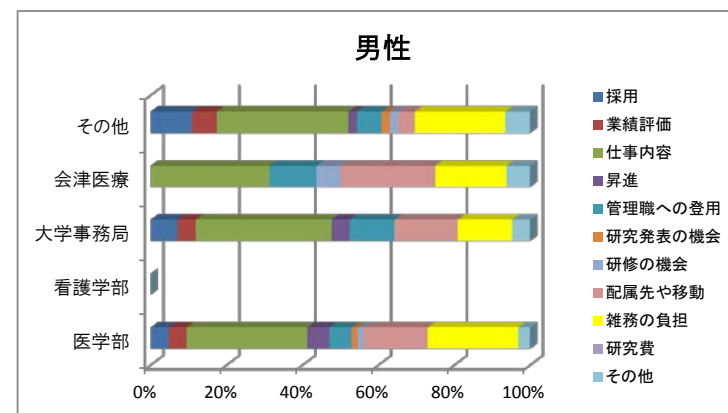
○女性

	医学部	看護学部	大学事務局	会津医療	その他
採用	1	0	3	1	14
業績評価	5	0	0	4	7
仕事内容	16	0	12	4	14
昇進	3	0	5	4	16
管理職への登用	4	1	3	1	17
研究発表の機会	1	0	0	1	3
研修の機会	3	0	1	1	1
配属先や移動	8	0	4	0	7
雑務の負担	13	0	19	5	23
研究費	0	0	0	0	1
その他	5	1	5	2	8



○男性

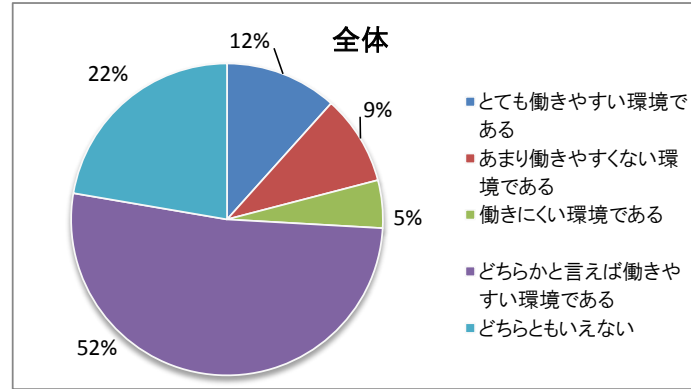
	医学部	看護学部	大学事務局	会津医療	その他
採用	9	0	3	0	5
業績評価	9	0	2	0	3
仕事内容	60	0	15	5	16
昇進	11	0	2	0	1
管理職への登用	11	0	5	2	3
研究発表の機会	3	0	0	0	1
研修の機会	3	0	0	1	1
配属先や移動	32	0	7	4	2
雑務の負担	45	0	6	3	11
研究費	0	0	0	0	0
その他	6	0	2	1	3



9. 所属部署において、ライフイベントを抱える男女が双方に働きやすい環境になっているか？

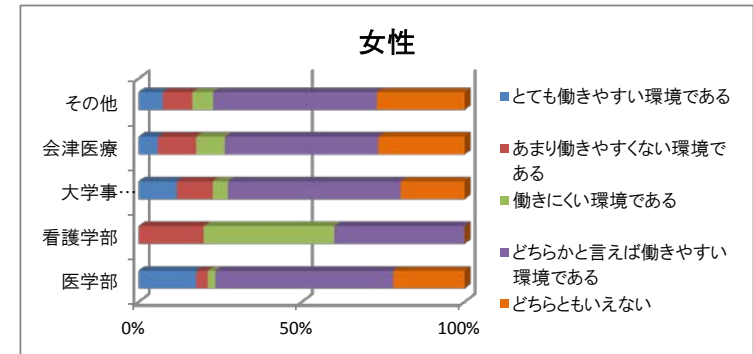
○全体(総回答数:1031)

	総計
とても働きやすい環境である	120
あまり働きやすい環境でない	96
働きにくい環境である	51
どちらかと言えば働きやすい環境である	534
どちらともいえない	230



○女性

	医学部	看護学部	大学事務局	会津医療	その他
とても働きやすい環境である	30	0	15	2	13
あまり働きやすい環境でない	6	2	14	4	16
働きにくい環境である	4	4	6	3	11
どちらかと言えば働きやすい環境である	93	4	68	16	88
どちらともいえない	37	0	25	9	47



○男性

	医学部	看護学部	大学事務局	会津医療	その他
とても働きやすい環境である	34	1	12	3	10
あまり働きやすい環境でない	37	0	10	4	3
働きにくい環境である	19	0	2	0	2
どちらかと言えば働きやすい環境である	154	0	46	20	45
どちらともいえない	55	2	18	7	30

